

- 固定価格買取制度
- 卒FIT

# 「FIP」

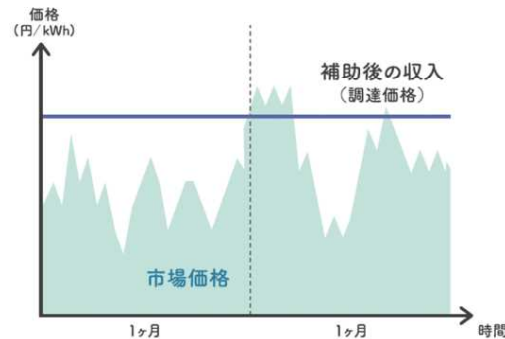
FIP制度とは「フィードインプレミアム(Feed-in Premium)」の略称で、固定価格買取制度(FIT制度)のように固定価格で買い取るのではなく、再エネ発電事業者が卸市場などで売電したとき、その売電価格に対して一定のプレミアム(補助額)を上乗せすることで再エネ導入を促進します。再エネの導入が進む欧州などでは、すでに取り入れられている制度で、日本では2022年4月から開始されます。

FIP制度においては、再エネ発電事業者はプレミアムをもらうことによって再エネへ投資するインセンティブが確保されます。再エネ発電事業者が電力の需給バランスを意識した発電をおこなうにあたり、今後、蓄電池の積極的な活用や発電予測精度の向上などの取り組みが進み、再エネが電力市場に統合されていくと考えられます。

## FIT制度

価格が一定で、収入はいつ発電しても同じ

➡ 需要ピーク時(市場価格が高い)に供給量を増やすインセンティブなし

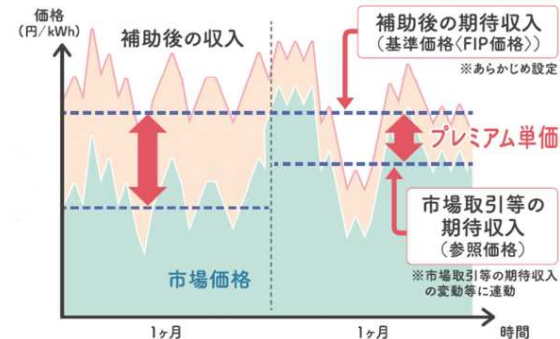


## FIP制度

補助額(プレミアム)が一定で、収入は市場価格に連動

➡ 需要ピーク時(市場価格が高い)に蓄電池の活用などで供給量を増やすインセンティブあり

※プレミアムは、参考価格に連動して1ヶ月ごとに更新され、また、出力制御が発生するような時間帯の電機供給には交付されない。



基準価格 - 参照価格  
= プレミアム単価

